



施工業者様用

〈施工説明書〉

H24 2方枠 引き込み戸 (両側戸袋・上吊りタイプ) 専用枠材

ドレタス

固定枠155mm幅・170mm幅

[標準] 両側ソフトクローズ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。
インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。

- ・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行う。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・躯体に欠点がないことを確認する。
躯体接合金具を取り付ける際、躯体のビスが当たる部分に節や割れなどの欠点がある場合、金具が固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるように下穴や下地材を入れてください。

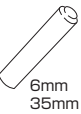
- ・補強の飼木(現場調達)を入れる。
ソフトクローズ仕様の時は、トリガー取り付け位置の鴨居裏に補強の飼木(現場調達)を必ず入れてください。飼木で補強をしないと、鴨居が破損してしまうおそれがあります。
- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

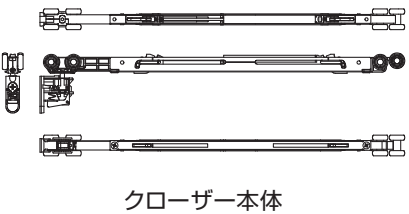
- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

■ 梱包内訳表 ※同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット								
部材名	縦枠 (戸先側)	縦枠 (戸尻側) ※化粧シートは貼っていません	中方立	下地材	下地 鴨居	鴨居 レール 戸先側 (短レール)	鴨居 レール 戸尻側 (長レール)	
入数	引き込み戸 (両側戸袋)	1本	1本	2本	1本	1本	1本	1本
備考 (部材品番等)	—	—	—	—	—	—	—	—

ビスセット(枠本体セットに梱包)								
		袋の色	赤	赤	赤	黄	黄	透明
部材名			木ダボ	組み立て ビス	下枠固定 ビス	躯体接合 金具ビス	六角レンチ	クッション キャップ
		セット品番	 6mm 35mm	 62mm φ3.8mm	 25mm φ3.5mm	 47mm φ3.8mm	 7mm L50mm	 φ16
入数	—	ZYML01-□	2本	8本	9本	12本	1本	8個
備考 (部材品番等)			使用しません	下地鴨居の 固定に 使用します	使用しません	縦枠と躯体の 固定に使用 できます	使用しません	—

金具セット(枠本体セットに同梱)【標準:両側ソフトクローズ】								
部材名	吊車	振れ止め 金具 (床付用)	上レール 取り付け ビス (皿ビス)	クローザー 本体 (吊車セット)	戸先側 トリガー セット (ビス2本セット)	戸尻側 トリガー バー (ビス1本セット)	レールエンド キャップ 戸じゃくり用	
セット品番			 55mm φ3.8mm					
入数	引き込み戸 (両側戸袋)	ZYCMW25	1個	1個	6本	1	1	1本
備考 (部材品番等)			ZYTF21	ZYTS621	ZYCA25	ZYTSCW21	ZYTTG21	ZYMTG25
								ZYENDA25



クローザー本体

1.開梱

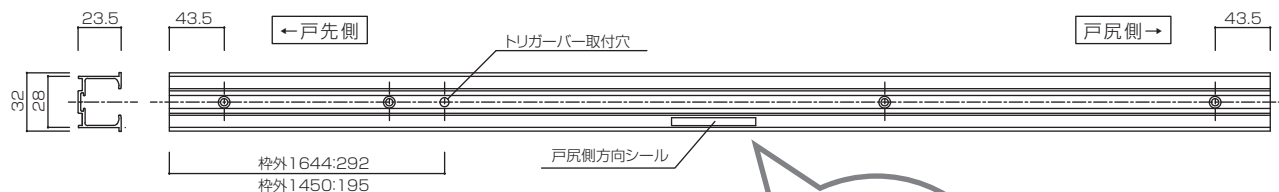
梱包を開いたら枠材本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

1 レール詳細図

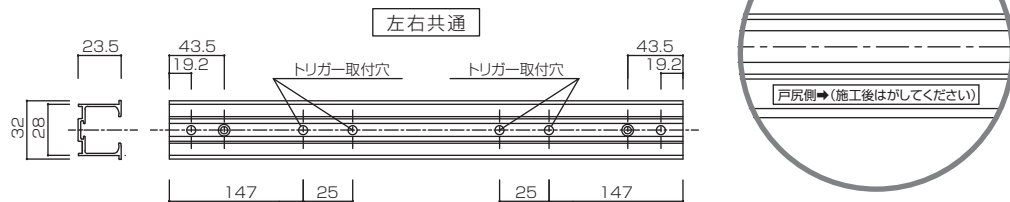
下記レール詳細図を確認し、トリガーなどの取り付け位置をご確認ください。

(単位:mm)

戸尻側長レール ※長レールは左右があります。向きを確認してください。



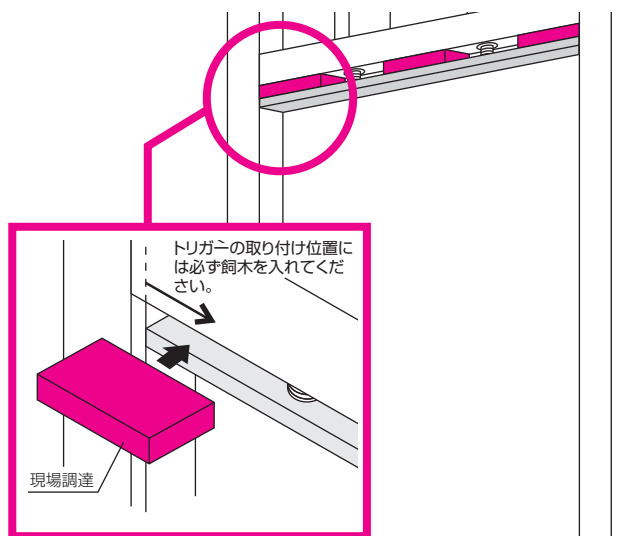
戸先側短レール ※短レールは左右共通です。



必ず行ってください!!

ソフトクローズ仕様の場合、鴨居に負荷がかかりますので、トリガーの取り付け位置の鴨居裏には必ず補強用の飼木(現場調達)を入れてください。

※将来ソフトクローズ仕様へ変更する可能性がある場合にも、あらかじめ補強用の飼木を入れておいてください。

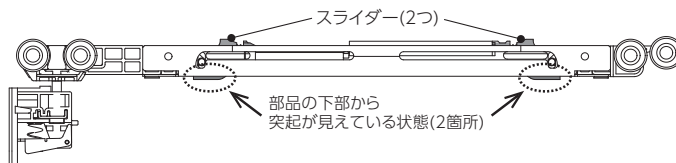


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

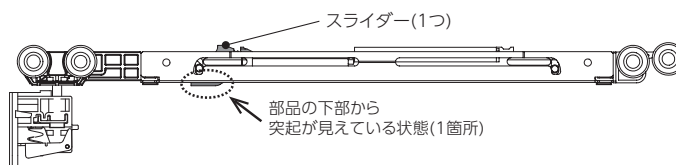
レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから取り付けてください。

正常状態

両利きタイプ



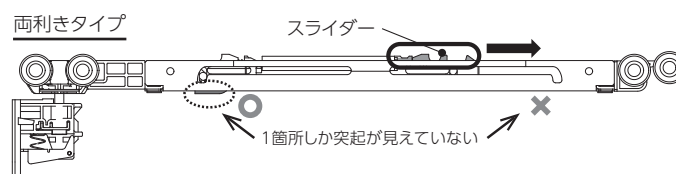
片利きタイプ



※片利きタイプはスライダーが「左側」にしかありません。

エラー状態

「カチッ」と音がするまでスライダーを引っ張ると「正常状態」になります。



片利きタイプの 場合

※両利きタイプと動作は一緒です。イラストは一部異なりますが、右図と同じようにスライダーを動かしてください。



ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。



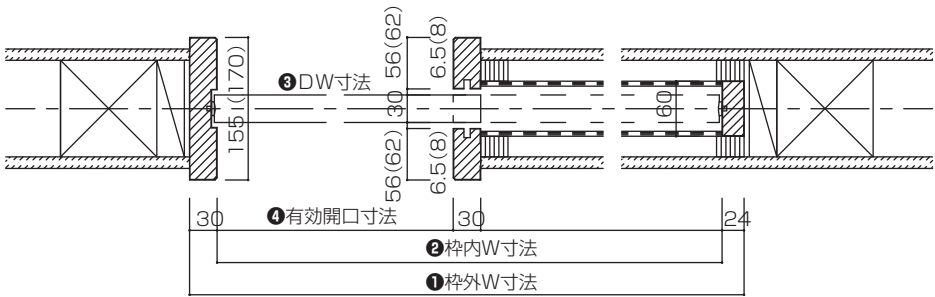
扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

2.納まり図

横断面図

(単位:mm)

固定枠



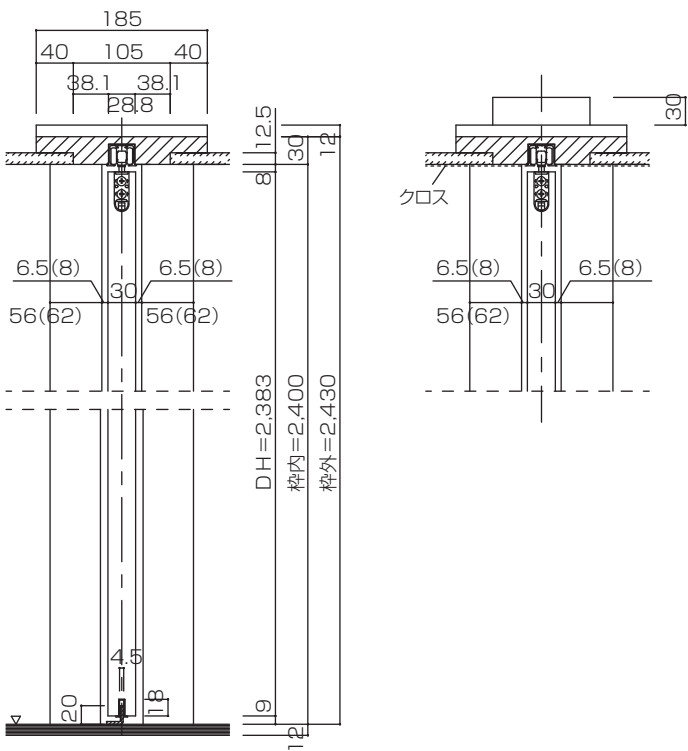
製品寸法	1,644	1,450
①枠外W寸法	1,644	1,450
②枠内W寸法	1,590	1,396
③DW寸法	810	713
④有効開口寸法	777	680

※()内は170mm幅の寸法です。

縦断面図

(単位:mm)

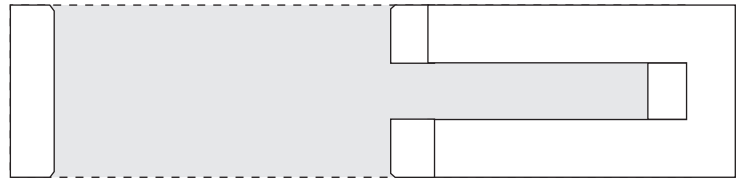
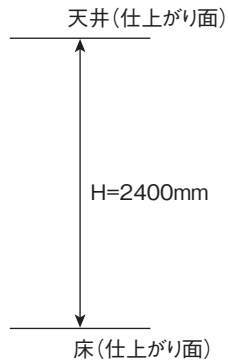
固定枠



※()内は170mm幅の寸法です。

3. 施工手順

1 開口部の確認



⚠ 注意

扉の高さがH=2383mmになります。
天井高がH=2400mmになるように
仕上げてください。

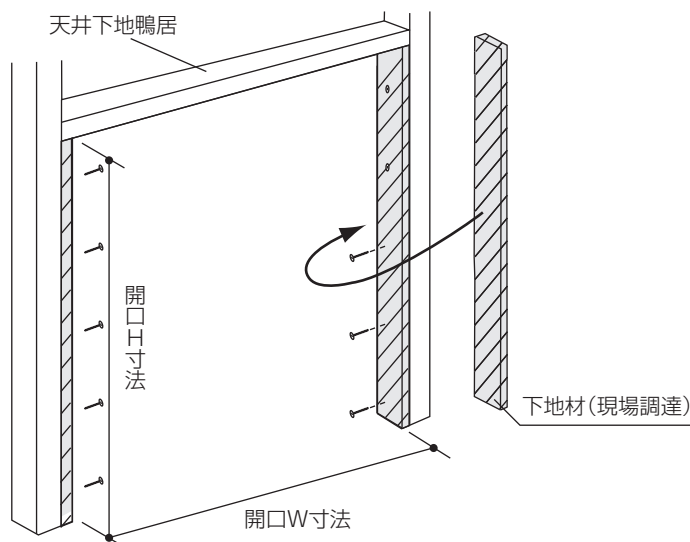
⚠ 注意

縦枠の内々に天井取り付けの上吊レールが取り付けます。枠の内々の天井部分は荷重に耐えられるように必ず補強をおこなってください。天井下地の補強が不十分だと、扉、上吊レールが脱落・転倒するおそれがあります。
※天井下地にはLV野縁システムを推奨します。

2 天井下地鴨居の取付け

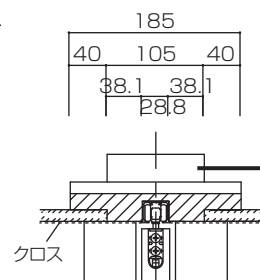
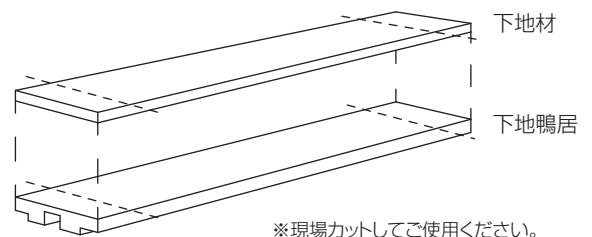
天井下地鴨居を柱や間柱間に納まるよう、現場カットして
いただき施工をしてください。鴨居が垂れ下がらないよ
うに同梱の組み立てビスを使用して、レール溝から3カ所
以上固定してください。

※レールが入るため、ビス頭が飛び出ないように
注意お願い致します。



ドレタス用 天井下地鴨居

2枚1組の鴨居です。施工前にフィニッシュや木ビス
(現場調達)等で、仮止めして施工していただく事
をお勧めします。

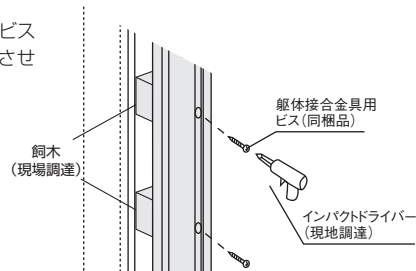


⚠ 注意

鴨居上部には30mm以上の下地を
入れてください。下地鴨居が垂れ
下がる可能性があります。

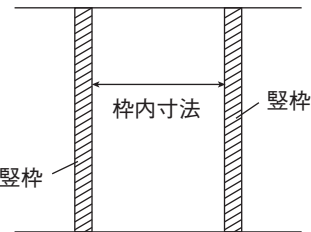
3 竖枠の取り付け

枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを竖枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。



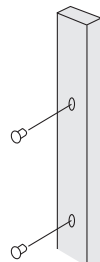
⚠ 注意

竖枠を取り付けるときは、納まり図をよく確認し、枠内寸法を確保してください。枠内寸法が異なっていると扉が納まらない可能性があります。



クッションキャップの取り付け
戸尻側の竖枠にクッションキャップを取り付けてください。

※クッションキャップは確実に取り付けてください。
確実に取り付けしていないと外れてしまうことがあります。

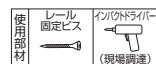
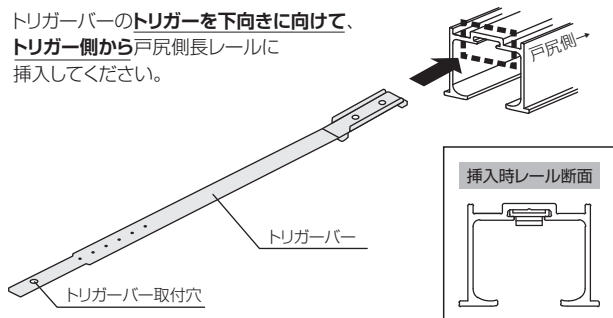


⚠ 注意

小壁を施工した後ではクッションキャップを取り付けることができませんのでご注意ください。

4 戸尻側長レールにトリガーバーを挿入

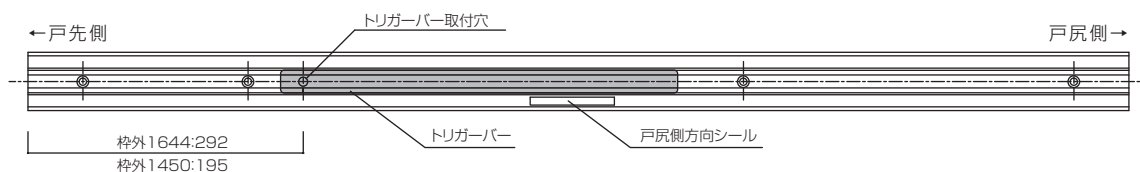
トリガーバーのトリガーを下向きに向けて、
トリガー側から戸尻側長レールに
挿入してください。



トリガーバーは、トリガーのバタつきを抑えるため、
トリガー側を少し下向きに湾曲させた形状になっています。
挿入時に少し抵抗がありますが、そのまま挿入してください。

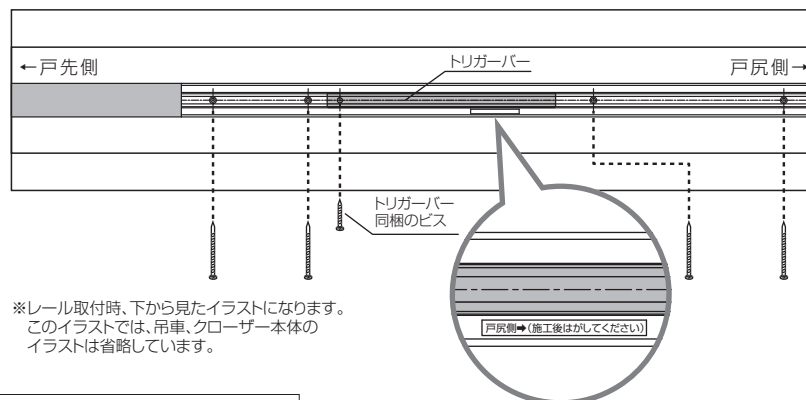
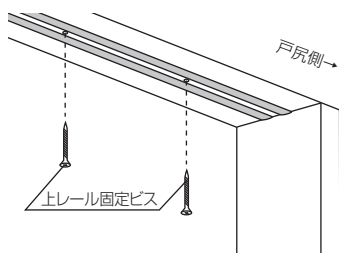


下図面の位置に合わせて、
トリガーバーをレールのトリガーバー取付穴(皿加工なし)に重なる位置まで挿入してください。



5 戸尻側長レールとトリガーバーの取り付け

長レールの左右を確認し、戸尻側の竖枠面に寄せて、
ビス穴の位置で下穴をあけてから、
同梱の上レール取り付けビスでレールを固定してください。
トリガーバーはトリガーバーに同梱のビスで固定してください。



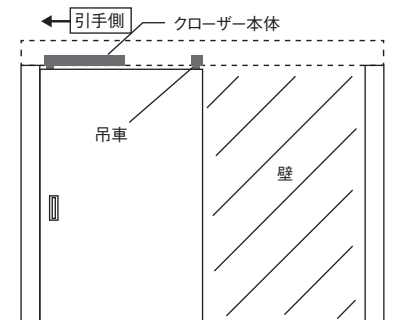
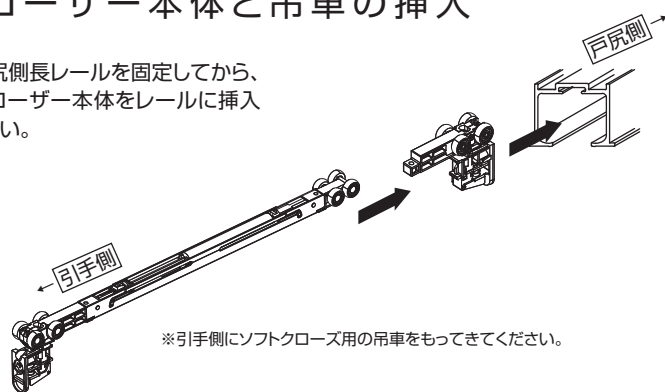
※レール取付時、下から見たイラストになります。
このイラストでは、吊車、クローザー本体の
イラストは省略しています。

⚠ 注意

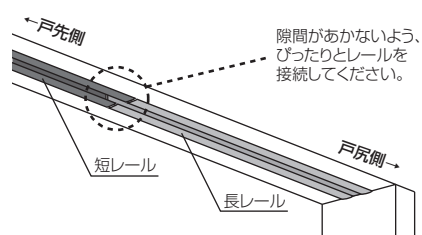
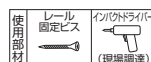
トリガーバーを挿入する前にレールを固定すると、レールの固定ビスと干渉してトリガーが上手く入らない場合があります。必ずトリガーバーを先に挿入してからレール固定してください。

6 クローザー本体と吊車の挿入

鴨居に戸尻側長レールを固定してから、
吊車とクローザー本体をレールに挿入
してください。



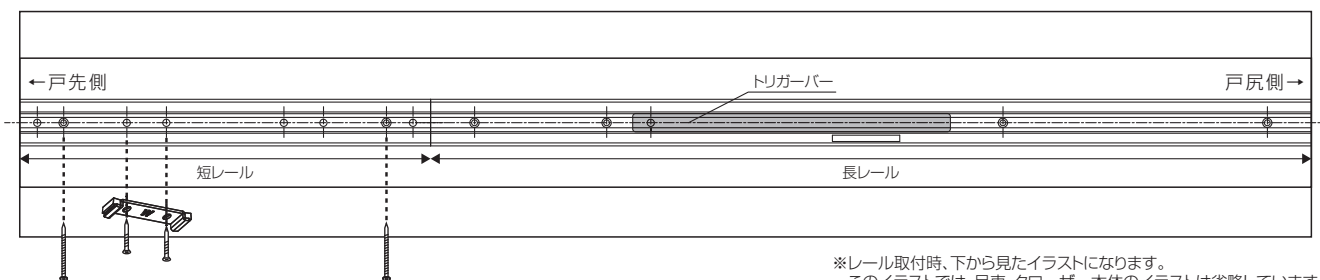
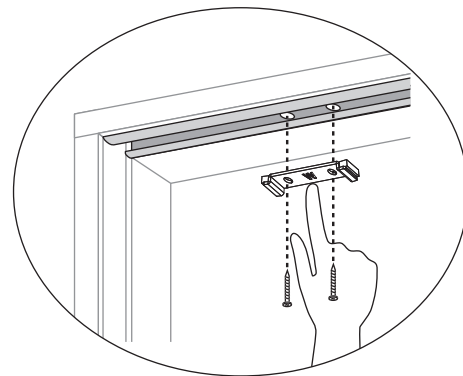
7 戸先側短レールとトリガーの取り付け



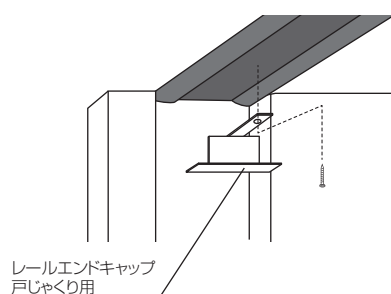
吊車挿入後、短レールのビス穴の位置で下穴をあけてから、
同梱の上レール取り付けビスで取り付けてください。
取り付ける際、短レールと長レールの接続部に
隙間があかないように注意してください。

⚠ 注意

長レールと短レールの接続部分に隙間があると、引き戸の開閉時、
吊車の走行に支障をきたす場合があります。



8 レールエンドキャップの取り付け



同梱の「レールエンドキャップ 戸じゃくり用」を、
戸先側レールの一番端に下穴が開けてありますので、
同梱のビスを使用して取り付け下さい。

9 小壁、中方立の取り付け

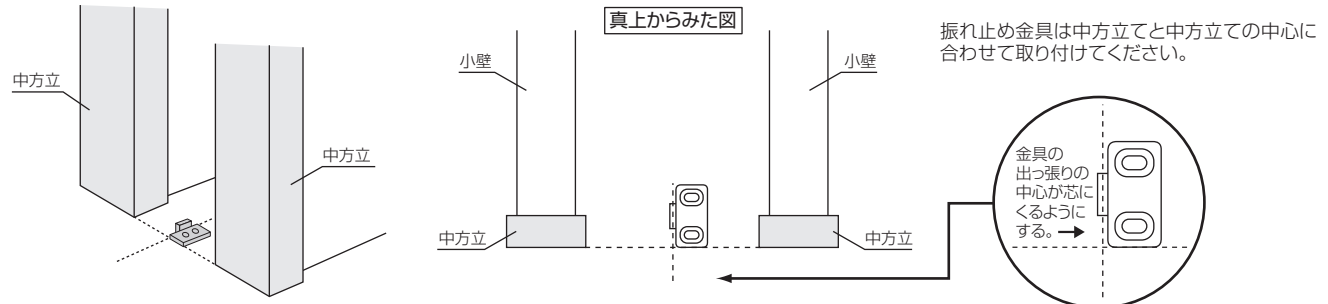
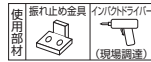
①片側の小壁を施工し、中方立を取り付けてください。

②その後、反対側の小壁を施工し、中方立を取り付けてください。

※中方立は水準器などを使用して垂直になるように、ビス(現場調達)で小壁に固定してください。

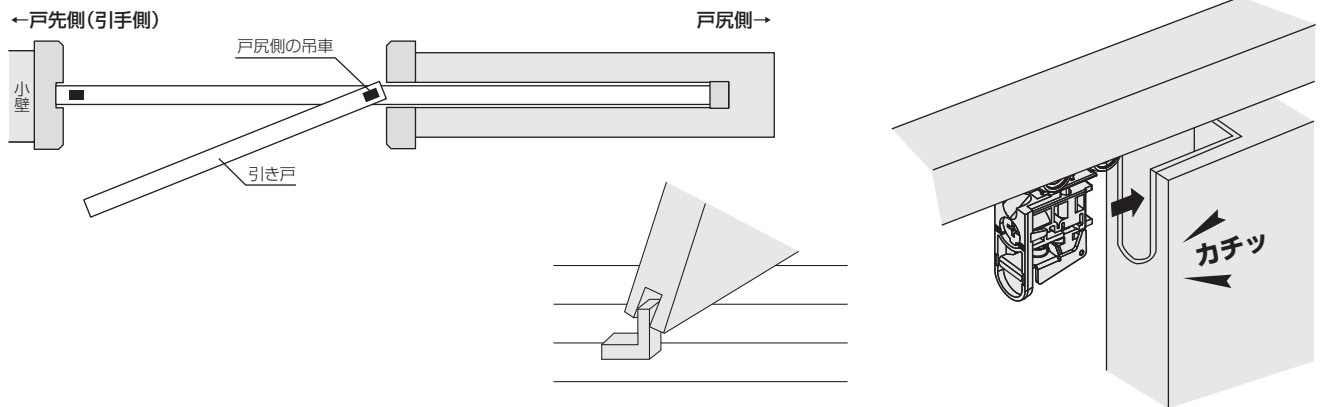
※小壁施工には引戸側への反りが発生しにくく、軸組とボードを簡単に施工できる小壁下地材「小壁パネル(別売品)」を推奨しています。

10 振れ止め金具の取り付け

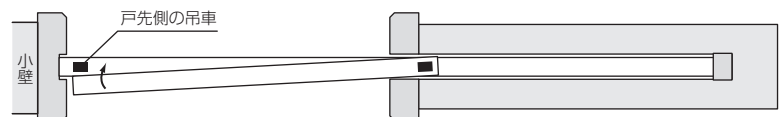


11 引き戸の吊り込み

(1)床に取り付けた振れ止め金具に引き戸をひっかけ、戸尻側の吊車をスライドさせ、固定カップにカチッと音がするまで差し込んで取り付けてください。



(2)戸尻側の吊車を取り付けたら、ゆっくり扉をレールと平行になるようにスライドさせていきます。扉がレールと平行になったら、戸先側の吊車を先程と同様に固定カップにカチッと音がするまで差し込んで取り付けてください。

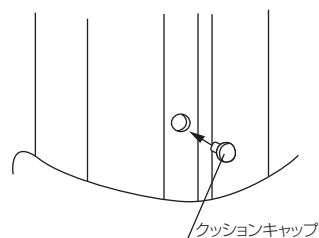


12 クッションキャップの取り付け



戸先側(開口部側)の堅枠にクッションキャップを取り付けてください。

※クッションキャップは確実に取り付けてください。確実に取り付けていないと外れてしまうことがあります。



施工終了後

◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。